

県外派遣報告書				
審判員名	眞榮喜 工		所属	クラブ連盟
大会名	平成29年度 第71回 関東高等学校男子バスケットボール選手権大会			
期間	平成29年6月3日(土)、4日(日)			
会場	東京体育館			
スケジュール				
期 日	内 容		場 所	
6月2日(金)	審判会議・レクチャー		関東国際高等学校「カフェテリア」	
6月3日(土)	1、2回戦		東京体育館	
6月4日(日)	準決・決勝		東京体育館	
会議 講義 内容				
指名審判員 小澤 勤 氏				
<p>JBA審判部からのガイドラインについて映像を用いながら講義が行われた。</p> <p>「1. 悪い手・腕・肘の整理(HAND-CHECKING含む)」、「2. スクリーンプレイ」、「3. アンスポーツマンライクファウル」、「4. フェイク」これらを1試合通して正しく判定してチームに伝えて(教えて)いかなければならない。そのために、目の前で起こったプレイが、どの条件に該当するからこの判定を下したというものを明確に持っていなければ伝えることは難しい。ファウルの3原則とRSBQへの影響。リーガルスクリーンの3つの条件やアンスポーツマンライクファウルの分類に関して理解しておく必要が有る。</p>				
指名審判員 平出 剛 氏				
<p>ガイドラインというものはミニバスからトップリーグまで同じように適用されるべきもの。カテゴリーによって、県内と県外、ライセンスによって判定が異なるということがないようにしていきたい。明らかなものに対して、普通に笛を鳴らし、試合の始まりからメッセージとして基準をしっかりと伝えることが出来るように。審判側が折れることなく、解ってもらえなければ吹き続ける、その後を変えるのはチームやプレイヤーである。良いものは良い、悪いものは悪い。明確にすることが必要。T.O.とのコミュニケーションを大切に、信頼関係を築いていく。時間、2P or 3P、チームファウル、フリースローシューター、本数など常に確認を怠らず、凡ミスをしないうこと。丁寧に一つひとつ積み重ねて一つの試合が無事終わるように。</p>				
実技				
担当試合	期 日	平成29年6月3日(土)	Aブロック	2回戦
	対戦カード	実践学園(東京) VS 県立厚木東(神奈川)		副審
	相手審判	加藤 誉樹 氏 (東京)		
ミーティング内容		主任 大澤 尚樹 氏 (神奈川)		
<p>最後までどちらに転ぶか分からない試合展開の中、何か事が起きたときにはどちらかが笛を鳴らしていた。ただし、責任エリア、責任プレイとしてどちらがより確認・判定をしなければならなかったプレイかを再確認した方がよい。二人で鳴らしたものに関しても、プライマリーはどちらなのか。相手に任せる、自分は他に気を配る、というようなコンビネーションがより必要。メカニックとして、二人ともワイドに見ていることが多い為、状況によっては足を運んで、確認しに行かなければならない。</p>				
担当試合	期 日	平成29年6月4日(日)	Bブロック	決勝
	対戦カード	日本体育大学柏(千葉) VS 桐光学園(神奈川)		U2
	相手審判	R:伊藤 恒 氏(東京) U1:平出 剛 氏(指名)		
ミーティング内容		主任 渡邊 整 氏(本部)		
<p>試合の入り方。自分が何を見て、どう判断したかをはっきり素直に表現すること。クルーの判定基準に合わせることも必要かもしれないが、様子見ではなくまず自分の見解はどうなのか。規則を基に今、目の前で進行しているバスケットボールがどうなのか？どう進んでほしいのかを伝えること。絶対に必要な笛と、吹かずとも流れていくものの選択を。</p>				
全体の感想				
<p>担当した2試合に共通して、自分のプライマリーは何か、クルーは何が見えていて何が自分には見えなかったのかを明確にし、判定を下していかなければならないと感じた。プライマリーであるものに関しては、しっかりと情報と根拠を持って、素直に表現していかなければならない。2POでも3POでも、クルーがS、A、B級など関係なく、どのような試合でも自分の判定を示していかなければ、次に進むことは出来ない。そこが今の自分の弱さだと改めて痛感した。規則、技術や戦術をより理解し判定力の向上に努め、それを活かすためのメカニックを身につけていきたい。</p> <p>この度、東京都バスケットボール協会及び東京都高体連男子バスケットボール専門部の皆様には細部にわたるまで御配慮頂き大変お世話になりました。また、今大会へ派遣して下さいました埼玉県協会、日頃活動を共にしている県内審判員の皆様へ、この場をお借りして御礼申し上げます。今回の経験を少しでも地元に戻し、切磋琢磨し、精進して参りますので、今後も御指導の程、宜しくお願い致します。</p>				